

茨城県議会に提出！

「日本政府に国連・核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書の提出」を求める請願！ 県平和委員会を含む39団体で！



茨城県平和委員会は、「日本政府に国連・核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書の提出」を求める請願を、5月28日（月）、県議会に提出しました。請願者筆頭に茨城県原水協を置き、請願団体は、県平和委員会を含む39団体です。

また紹介議員は、山中たい子さん、江尻加奈さん、上野高志さんです。共に日本共産党の県会議員です。

茨城県議会議長

山岡 恒夫 様

2018年5月28日

日本政府に国連・核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書の提出を求める請願

請願者 原水爆禁止茨城県協議会会長 加藤 岑生

住所 310-0912 水戸市見川5-127-281

請願他 39団体

【請願趣旨】

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年目となる2017年7月7日、ニューヨーク国連本部で開催された「核兵器禁止条約交渉会議」において、122カ国の圧倒的多数の賛成で核兵器禁止条約が採択されました。

9月20日の国連で核兵器禁止条約が開放され、署名・批准がはじまり、すでに53カ国が署名し、90日後に国際法として発効される予定です。核兵器禁止条約は、被爆者とともに私たち国民が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶の実現につながる画期的なものです。広島市と長崎市への原爆投下に見られる核兵器の惨禍を体験し、その経験から戦争放棄を定めた憲法を持つ日本は、核兵器の禁止に賛同し、推進の先頭に立つことが強く求められます。

そして、昨年のノーベル平和賞は核兵器の非人道性を訴え続け、条約成立に貢献した「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)に授与されました。

本県においても核兵器廃絶を求める非核平和自治体宣言は県議会をはじめ44全自治体が議決し、県民の意思となっています。また、広島市と長崎市が呼びかける平和首長会議に全自治体長が参加し、核兵器廃絶を強く求め、非核平和をめざす教育行政等を推進しています。

日本政府が、唯一の戦争被爆国にふさわしく、国是である「非核3原則」を堅持するとともに、アメリカの核の傘からの離脱を決断し、核兵器廃絶実現のために、核兵器禁止条約への賛同と批准手続きを進めるように以下の項目を請願します。

【請願項目案】

国連・核兵器禁止条約への署名と批准の手続きをすすめることを日本政府に求める意見書を日本政府に提出してください。

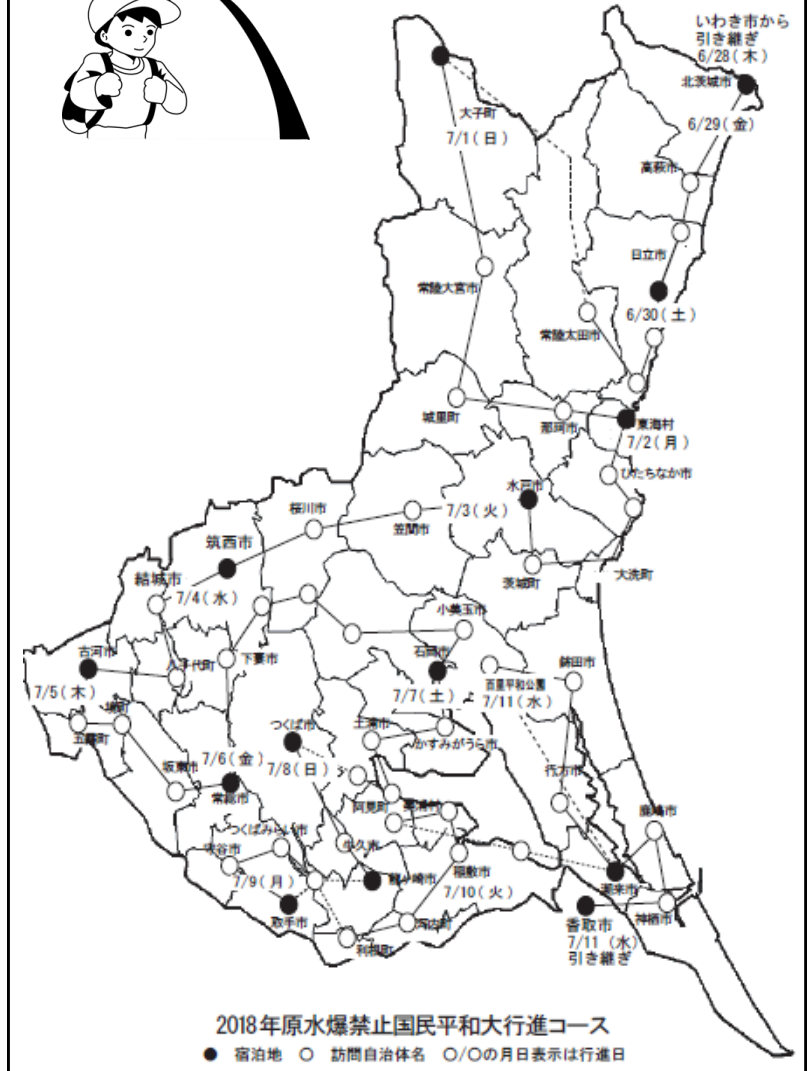
自民党の党独自の世論調査結果によると 内閣支持率が4月には22.3%、5月にはなんと20.6%まで落ちてる！！

週刊フライデー（講談社）6月15日号に、自民党が独自で行ったという世論調査の結果が掲載されました。自民党は党独自で定期的に支持率などを調査しています。選挙でも独自に調査して候補者を選考します。それを週刊フライデーが独自に入手したといえます。

記事では「自民党の世論調査によれば、3月に39.4%あった内閣支持率が、4月には22.3%、5月には、なんと20.6%まで落ちてきている」といいます。メディアの世論調査では、「30%以下には下がらない安倍内閣の支持率」「内閣支持率の下げどまり」とも言われています。6月4日のNEWS23（TBS）でも、内閣支持率は39.0%で、今までの最低を記録したと放送しました。しかしそれは嘘（？）だという事にもなります。自民党が独自に行っているこの調査結果の数字を大手メディアが一斉に報じたら、「安倍内閣3選確実」から、「安倍内閣退陣必至」に流れが変わることでしょう。

2018年

茨城県内「国民平和大行進」日程



平和新聞

2018年6月15日（金）

2172号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館
（郵送料月額120円）電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.811
2018.6/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川2-127-281
TEL/FAX 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

美和・緒川平和の会の定例総会

6月2日、美和・緒川平和の会の総会が常陸大宮市内で開かれました。

県平和委員会から海老沢文範事務局次長が挨拶、新日本婦人の会常陸大宮支部からの「ともに力を合わせアベ9条改憲をやめさせましょう」という連帯のメッセージが読み上げられました。

議事では、地域連絡会を結成し月2回の統一行動で取り組んだ「ヒバクシャ核廃絶署名」が4,647筆に達し、12月市議会では「核兵器禁止条約の調印を求める意見書」採択の請願書を提出、「趣旨採択」となったこと、「安倍9条改憲NO!3000万署名」では「戦争をさせない常陸大宮市民の会」を結成、一斉行動日を設けて活動し全体で2,578筆(4月21日現在)に達したことなど、地域の共闘の中心となって進めてきた旺盛な活動が生き生きと報告されました。

討論では「3000万署名は今後どう進めるのか」の質問も出され、堀江仙三会長が「署名については今後全国的に方針が提起されるが、安倍首相は改憲の野望をあきらめていない。

安倍退陣と改憲阻止の運動はさらに発展させなければならない」と答えました。

総会は、① 憲法「改定」阻止と立憲主義の回復 ② 東海第2原発の再稼働、20年延長を許さず廃炉を求める、③ 運動の輪を広げるために会員を増やす、など6つの重点課題を全員一致で確認、県大会の代議員などを選出しました。総会後は、恒例のバーベキューで和やかに交流しました。

ウチナンチューと米軍基地について 語ろう! ツアー



つくば平和の会と県平和委員会共催、沖縄に学ぶ連帯ツアーの申し込みは6月1日に締め切りました。皆様に協力もあり、総勢31名の参加者がありました。6月23日(土)に茨城空港を出発し那覇へ。沖縄の仲間と懇親会や連帯行動を重ねて、26日(火)に連帯土産をたくさんもって帰ってきます。報告を楽しみにして下さい。

「よく話せば、誰でも9条を改憲してはいけないと思っている」石岡の目標「2000筆」は何としても達成する!



「安倍改憲NO!3000万署名」の第1次提出日は6月14日です。しかし安倍政権が続く限り署名は続けられます。「9条改憲は許さない」と、市民と対話を進める草の根の取り組みが進んでいます。今回は石岡平和の会の山口さんに届けられた手紙を紹介します。これは5月27日の理事会で紹介されたものです。

昨日署名数343筆となりました。今回は1日で94筆とか、67筆とか、45筆とか、54筆とか、量が多くなっているのが特徴です。それは、山口さんが言われたように、担い手を意識的につくることに努力した結果でした。

これまでは、ご夫妻2人の署名でいましたが、今回は20筆、10筆、7筆と、そして署名用紙5名いっばいに書いて下さる方が、とても多い数(人)となっています。私のお願いの訴えも熱が帯びて、相手の決意を引き出すことに一定の効果があるように思います。

よく話せば、誰でも9条を改憲してはいけないという考えを持っています。中には反対の人がいたり、判断が付かないとか、北朝鮮の脅威論の影響をもろに受けている市民もいます。しかし、そのような考えは少数です。

署名活動は、相手との対話が成立しなければできないものですから、何回も留守宅に足を運び、根気とこちらの迫力が重要です。私は8人兄弟ですが、首都圏内に住んでいる7人の兄弟に返信用の封筒を入れて、署名用紙を2枚入れて郵送してあります。

町内役員をして地域の要求を実現させ、宣伝していることも好感をもたれて、署名に役だっています。

妻を気遣い、自分の身対にも注意しながら、連日オートバイで走り続けています。何と言っても国民の深部の平和への要求が根強く、国会の両院の「憲法審査会」の策動を動かしていない現実、国民の力であることを痛感します。

石岡の目標は2000筆と聞いていますが、これは何としても達成しなければなりません。私も山口さんの真剣さに背中を押されて動き出しましたが、こうした活動が次期国政選挙の躍進の土台をつくって行くのだと思います。(中略)

いずれにしても私は自身の500筆の目標はやり切る決意です。駅頭などに参加できずに申し訳ありませんが、ともに頑張ります。2018年5月27日 <前島 延行>

アジアの平和と



まっとうな政治を求める

茨城県民共同アクション~

9条改憲NO!安倍内閣退陣!~

とき 6月19日(火)

集会 15:30~ 水戸駅北口

デモ 16:20~

宮下銀座 出発~南町自由広場・解散

ところ 水戸駅北口(集会) 宮下銀座~(デモ)

世界史的規模で、アジアが平和に向かって大きく前進しようとしています。日本も、いつまでも、「力の政治」を吠えている場合ではありません。市民の力で、まっとうな政治を取り戻し、平和な暮らしを守りましょう。毎月の参加者はますます増えています。

まだ参加していないという方、あなたの一步で平和が近づきますよ!

戦争の遺構と平和を語り継ぐ



まちづくりシンポジウム

とき 6月23日(土) 午後1時30分から

ところ 北茨城市・「よう*そろー」漁業歴史資料館
北茨城市関南町仁井田789-2 ☎0293-46-8600

戦後73年。当時を知る人は少なくなり、記憶は薄れつつあります。かつて北茨城市には「風船爆弾」や特攻ボート「震横」基地が置かれました。それらの遺構の風化も進んでいます。これをどのように保存し、平和を語り継いでいくのか、市民と行政によるまちづくりを考えます。平和を訴えると同時に観光の一つとして取り組み、北茨城平和の会が共催しています。

1. ビデオ上映 「鎮魂碑は風船爆弾遺跡」
2. 報告 「北茨城の遺構 風船爆弾と特攻艇「震洋」
3. 講演 「戦争の遺構と平和を語り継ぐまちづくり」
4. パネルディスカッション 五浦ガイド・藤田稜威雄さん他
5. 私たちの提言 パネルディスカッションのまとめ

主催：茨城県自治体問題研究所・シンポジウム実行委員会